

日本人留学生による当地中学生との交流会の開催

平成28年12月29日
在瀋陽日本国総領事館
在大連領事事務所

12月26日及び28日、大連の日本人留学生らで組織されるサークル「大連留学生社团」のメンバーと共に当地の中学校を訪問し、日本語を学ぶ中学生及び教員らとの交流会を開催しました。

今回訪問したのは、日本語学習課程を設けている大連市第31中学と大連市第37中学の2校。日本語を履修している学生32名が本交流会に参加しました。

交流会ではまず日本のお正月文化の紹介が行われました。日本はどうして農歴の春節ではなく西暦のお正月を祝うようになったのか、大晦日や元日には何を食べるのか、神社に参拝に行く意味やお正月ならではの遊びなど、意外に知られていない日本のお正月の風習を分かりやすいかたちで紹介しました。

その後、日本人留学生と中学生はいくつかのグループに分かれ、対話形式のテキストを用いて日本語によるレクリエーションを行いました。学生たちは簡単な自己紹介をした後、日本語を用いて大連に関することや好きな日本の漫画・アニメなどを留学生に紹介し、普段の日本語学習の成果を確認しました。

また、交流会の最後には、中国でも有名な新海誠監督が2002年に制作した短編アニメ作品「ほしのこえ」の上映会を行い、鑑賞後は各グループの代表が日本語で感想を発表しました。

日本人留学生と中学生の表情は終始笑顔で溢れ、とても有意義な交流活動となりました。当事務所としては、今後も引き続き初等・中等教育機関における日本語教育の支援に力を注いでいく予定です。

12月26日 大連市第37中学

日本のお正月文化の紹介



日本語レクリエーション①



日本語レクリエーション②



日本語レクリエーション③



記念撮影



アニメ映画鑑賞



12月28日 大連市第31中学

会場となった日本語教育特別教室



日本のお正月文化紹介①



日本のお正月文化紹介②



日本語レクリエーション



日本語でアニメ映画の感想を発表する学生



記念撮影

